

# オガルカヤ

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

*Cymbopogon tortilis* (J.Presl) Hitchc. var. *goeringii* (Steud.) Hand.-Mazz.

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

もともと低山に少なくなかったと考えられるが、里山の環境変化にともない近年急減しており、今回新たに絶滅危惧種に加えられた。(現況:R-)

## 形態

高さ60~100cm。花序は細長く長さ20~40cm、葉状苞の中から短い枝を側生し、先に長さ1.5~2cmの穂を180°開くように2つずつつける。

## 国内分布

本州(東北地方南部)~琉球。

## 県内分布

外浦区(志賀町富来地区)、中能登区(七尾市、羽咋市)、加賀中央区(金沢市)、南加賀区(能美市辰口、小松市、加賀市)。外浦区と中能登区の他は1970年代以前の標本記録による。

## 生態など

多年草。花期は8~10月。

## 生育環境

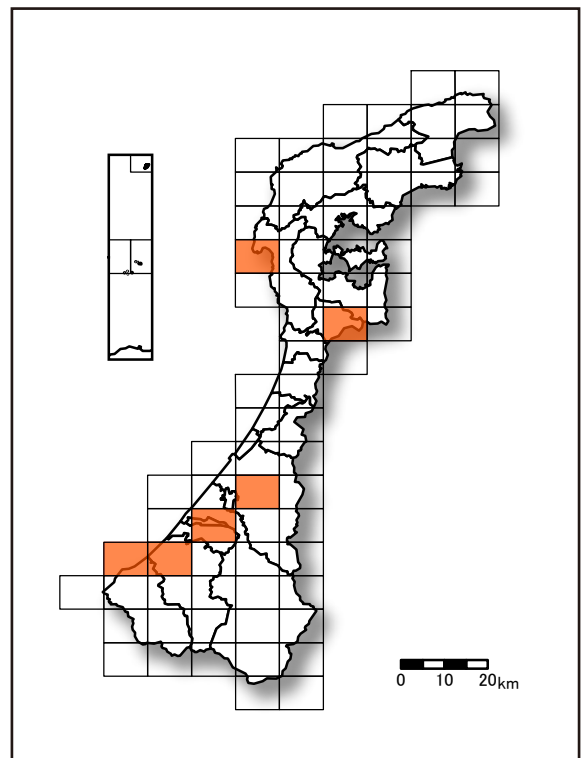
平地から低山地の乾いた草地。

## 危険要因

草地開発、土地造成、自然遷移。



小野ふみゑ・2003年9月23日・志賀町



県内の分布